

新教育課程説明会

2月16日（木）午後3時、令和5年度新教育課程説明会を開催しました。保護者のみなさんにも多数お集まりいただき、ありがとうございました。予想を上回る参加人数でしたので、保護者のみなさんにとっての関心の高さがわかります。教職員も含め多田小学校に関わるおとなたちが、こんなにたくさん集まることはそうそうあるものではなく、それだけ大事なことだと再確認しました。

内容を振り返ってみます。校長の説明の後に手を挙げて質問していただいた方々の多さではなく、冷静に子どもたちのことを考えての発言に頭が下がる思いでした。ご質問には、台本もなくお答えしていますが、出席した教職員も真剣に聞き、発言しました。今後の準備に向け活用していきたいと思います。ありがとうございました。事前の質問にも、学校としての回答を付けています。アンケートを締め切ってから約1か月。新教育課程のプロジェクトチームの教員を中心にまとめた内容です。たくさんの方にご質問やご意見感想を寄せていただきました。顔を見ることはできませんが、紙面からその表情を思い浮かべていました。真剣な眼差しと手振りを感じます。きっと会場で回答集を見られた方にも同じことが起きていたのではないのでしょうか。

これから教職員と子どもたちを中心にみなさんと一緒に新しいことに取り組んでいきます。教科担任制について、兵庫県の小学校はすでにその経験を積んでいます。しかし、午前5時間授業や学年担任制については、まだまだ全国的に少しずつ増えつつある状況です。多田小学校も来年度4月から新たな経験になります。未知の世界に進んでいきますが、学校にはたくさん子どもたちと教職員がいることに違いはありません。見方を変えて日々の過ごし方を考えてみると、教室には今と変わらず子どもたちと教職員がいて、ともに時間を過ごすのです。現在・過去・未来、教室をのぞけば同じような風景が広がっていることでしょう。

変わらないことだけではありません。今だけでなく教育の様子はこの数年間で大きく変化していきますし、これからも変化していくことが予見されます。この数年間の変化はこれまでとは格段に大きな変化だと実感しています。学校が社会的につくられ、社会の状況とともに変化していくことは教育の歴史を振り返れば明らかです。同じ変化するのであれば、受動的ではなく、能動的でありたいと思います。自ら考え、仲間とともに相談し、自分たちで主体的に取り組んでいく多田小学校の子どもたち。そんな子どもたちを支える教職員もまた主体的でありたいのです。子どもたちと教職員、保護者と地域の方々が相互に影響し合える良好な関係を目指します。

様々な議論が未来を予想させてくれます。説明会後にもご意見をいただきました。ありがとうございます。気楽に言葉を交わせる学校。子どももおとなも目指すところは同じです。これからもよろしく願います。

今後の予定について

会議（meeting）

2月10日（金）の昼休み、4年生6人が突然校長室にやってきました。『会議をしていいですか？』『どうぞ』という会話からスタートしました。3人对3人に分かれて何やら真剣に楽しそうに議論しています。少し聞き耳を立ててみると『入れ替わったらいいんとちゃう？』といった何の話をしているのでしょうか。あーでもない、こーでもないと言いながらその表情は輝いていました。

しかし、そこは小学生。途中からおふざけが混ざりだし、なんとなく終会となって『失礼しました』と校長室をあとにしました。まだまだ実践が必要かもしれません。コロナ禍で失われた姿が学校に戻ってきています。（meet の意味）

